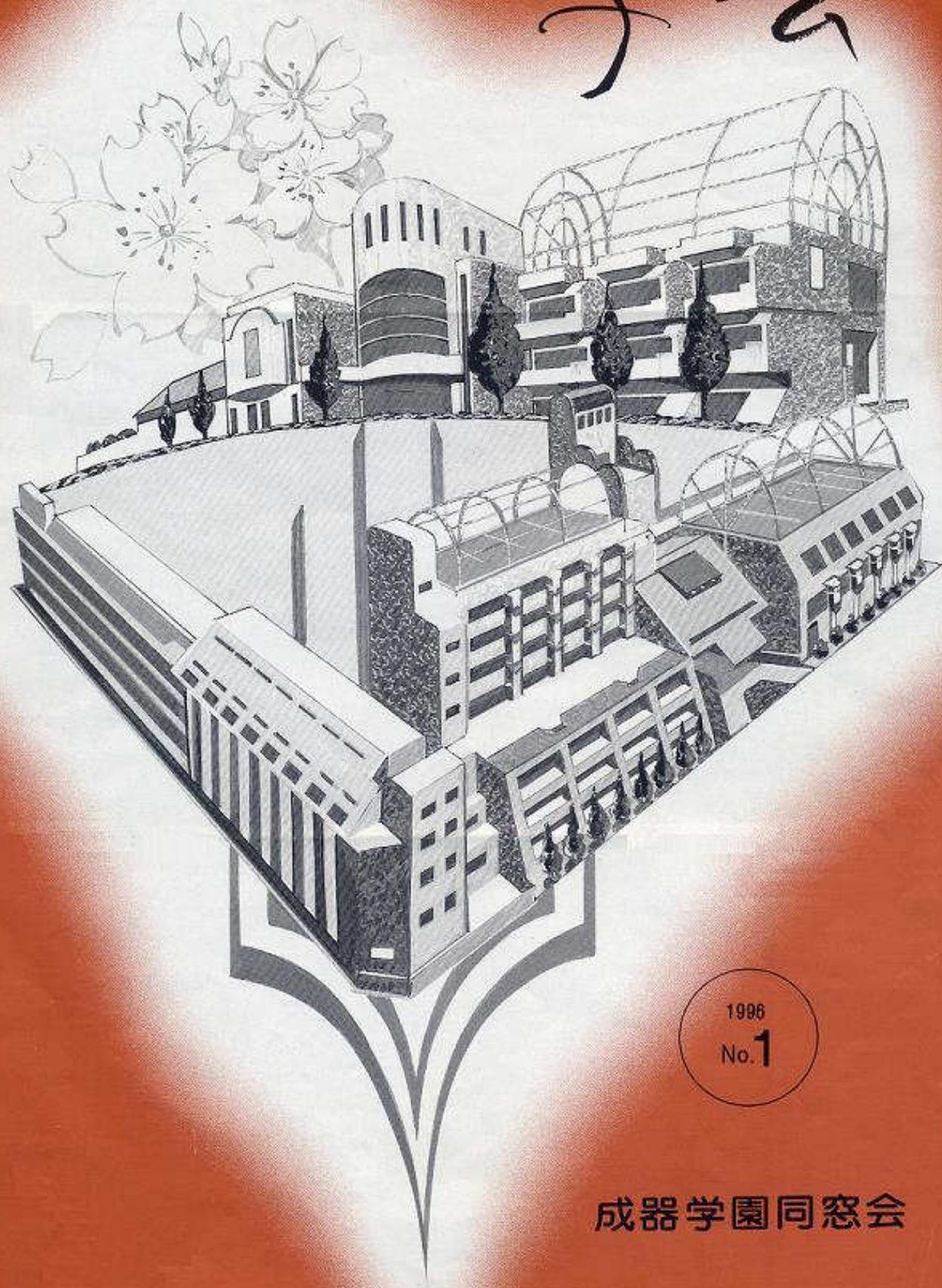


同窓会 会報

# 学芸



1996

No. 1

成器学園同窓会



# 会報「学芸」が新しくスタート



同協会名誉会長  
伊丹啓次

「学芸」の会報発刊に当り御挨拶申し上げます。

平成八年度から「スタート」とされる学校法人成器学園が大阪学芸中学・高等学校として開校され、学芸会報初発刊されることは誠に御日出度う存じます。衷心から御祝申し上げます。立派な舎で内容についても進学の熱意と意欲を持って「スタート」とされると聞いて心強く思っております。五十年前の震災から今日迄に度々の苦況を克服され今日の栄光を得られた役員先生、保護者、同窓会等の各関係者御一同に感謝いたしております。今後益々の御発展を御祈り申し上げますと共に今後一層の一致協力方を御願ひ申し上げます。

## 会報「学芸」創刊にあたり



同協会会長  
井内博見

愈々本年四月より、学校法人成器学園は成器高校から「大阪学芸高校」へ校名を変更し、同時に新しく「大阪学芸中学校」を開校することになりました。このことは生徒激減期に入った学園経営にとって生き残り、けたきびしい選択に

外なりません。新中学校では男女共学中

高六年一貫教育を旗標に、高校とは全く別に新校舎を建築し、河南町に約八千坪のグラウンド用地を購入整備される等、申分のない教育施設を設置されてきました。大切なのはこのハードの設備に十分に対応する中味、ソフトの整備充実でしょう。一方これらに呼応して如何に素質のある良き子弟を吸収できるかが大切であります。多くの逸材を輩出してきた成器の卒業生として可能な限りの応援をして名門成器の新生大阪学芸中・高校の発展に協力しようではありませんか。新しく会報「学芸」の創刊に当り強く念願する次第であります。



同協会顧問  
渡壁辰夫

学園の長い歴史と二万六千を超える同窓生は、私達に心強いものとなっております。昨年十二月十二日、学芸中学の立派な校舎が竣工、その南にある鉄筋七階建の高校が高い権威を示す存在に見えた。震災後の四教室の校舎、芋畑の校庭の状況を追想すると、全く別世界のように思われる。

戦前本校は相撲、珠算で全国優勝し有名だった。最近ではクラブ活動で全国大会に出場することも多くなった。学園の復興を高く評価されてよいと思う。これまでには経営者、教職員は勿論同窓生の陰の協力もあつたか、と思う。

最近いじめの問題、オーム真理教など

教育、宗教問題が広く話題となりました。私は社会生活の基本は正義公平の精神だと思ってきました。学園の発展のため、今後は大学の創設を努力目標に掲げ、各人応分の協力をしようではありませんか。



東部成器会会長  
丹波喜義

新生大阪学芸高等学校の発足に併せて同窓会会報「学芸」の創刊は、誠に喜ばしく東部成器会より一言お祝いを申し上げます。

戦後五十年、我が国は奇跡の繁栄をなし遂げ、世界に冠たる豊かな社会を実現させた反面、社会に様々な歪が生じてまいりました。特に国の礎とも言うべき教育は、根本的な改革が焦眉の問題となっております。

学校におかれましては、理事会を始め運営に携っておられる皆様方の卓越した先見性が、この度の六年制教育実施の運びになりましたことは、誠に時宜を得た決断と感服申し上げる次第です。この上は「教学相長ず」を旨とされ、建学の精神を受け継ぎ益々のご繁栄あらんことを切にお祈り申し上げます。

同窓会も「学芸」の創刊を機に愈々結束を固め、学校の運営、発展に側面からお手伝いできますよう心から願うものです。



## 成器卒業五十年を迎えて

藤井 昭三 (二部三十一期卒業)

〒52 寝屋川市成田西町一三三四(一〇五)

大阪府議会議員

成器商業を卒業して、五十年。最近同窓生の消息と云えば、死亡通知のみ。段々淋しさがつのる今日此頃です。

その成器も、今春四月からは、大阪学芸高校、中学校になるとか。淋しさが重むばかりです。

それでも新生、高校の行く末を充分見守る責任があると、老骨に鞭を打って励げんではいるところ。私学の問題は、大阪府議会議員である、私の守備範囲でもありますので。



## 禍い転じて福と……?!

和田 貞夫 (二部二十九期卒業)

〒590 堺市戎島町一六六

衆議院議員、衆院厚生常任委員長

人の人生は摩訶不思議と言え。在学四年生の時、私は無期停学処分を受けた。「最終四十日になったが」そのため教練が不都合となり、幹部候補生の資格を失ってショックを受けたものだ。

満ちである。格落ちの乙種幹部候補で生活を送ったため、今からみれば戦死をまぬがれたと言え。健康にめぐまれ、今でも天下国家にかかわり、先輩諸氏の死を無駄にしないよう頑張っている。現在に乾杯！ 幸いな人生である。



## 成器と共に去られる我恩師

米田 耕作 (高校十六期卒業)

〒546 大阪市東住吉区住道矢田七十五(二三)

城南学園中学・高等学校教諭

私が入学した昭和36年は、丁度普通科がスタートした年である。早速好きなクラブに入部し、先輩方から愛の洗礼を受ける。顧問が運良く二年間担任で、大学迄面倒見て頂く。お陰で女学校に勤務でき、良き妻と二児に恵まれ、平凡ながら幸福を感じている。

若き恩師も今は理事になられ、この三月に校名と共に去られる。OB会・クラス会・大婦会等で40年間の功績を賞える為の準備をしている。私も恩師の様に生きたいものである。



## 青春時代の良き思い出

高井 茂 (二部四十期卒業)

〒546 大阪市中央区道頓堀二一(一五)

株式会社ささや陶器店取締役会長

突然鈴木君より電話、成器商四十期卒業五十年日、半世紀記念ABC合同同窓会やろうOK一言。岡田君、岡田君、新熊君、本田君、各自手際よく連絡。全国より三十余名集る。それぞれ七十才になろうかの歳月。顔を見るやタイムスリップ。学園時代に戻り、戦時の学園生活十二月八日故鈴木校長朝礼訓辞。南海関西線交叉する校庭での教練。配属将校のシブキ、住の江往復駆足行軍。教室内いたずら。青春時代の良き思い出。残り少ない人生お互い健康で活躍したい思いの今日此頃。



## 成器の精神を失ふ勿れ

高野 光男 (二部二十二期卒業)

〒546 大阪市中央区道頓堀二一(一五)

社会福祉法人いわき学園理事長  
財団法人住吉名勝保存会理事長

この度校名が学芸と変り誠に立派な学舎が完成した。成器の名は教育勅諭の徳器を成就しより採られ、創学の遠藤先生は字間もさること乍らむしろ人格の形成こそ社会国家のために役立つ器が育つと考えられた。又最近の風潮は学芸偏重で著名大学の卒業が人の将来を左右すると云う単純な考えが多い。師生徒、親子、兄弟、姉妹の距離の判る人物の育つ教育の場であることを念じますと共に新たな母校の進路に栄光あれと祝福を捧げます。



## 入学時の思い出

飯田八四郎 (二部三十一期卒業)

〒210 川崎市川崎区小田二一(五一一)三

洋光産業株式会社社長

成器商業学校入学、矢田英三君と私が入学決定、彼と私は体が虚弱で内気よく病気で休み勝ち、勉強も出来ず先生が時間外に特別に教えてくれたが、先生の方が涙ながらにいかして教えたら解るのかと実に情けないよく似た二人だった。白線の入った帽子に金色のボタンの制服、他の方は感激に溢れているのに気取らずかしい二人には表情にも出せず、青白い顔した二人であったが、それが五年間で成器魂を打ち込まれ無事卒業の上、社会人となった。今日を築きあげたのも諸先輩諸先生のお陰だと感激大にしています。

# 懐かしい先生の消息 あ

昭和35年以降退職された先生の消息

<p><b>太田隆之先生</b> (77才) 昭和55年3月退職 移り行く30年という 永い間育てられし成 器学園を還暦にて退 職し、喜寿を迎える 歳になりました。 「愚老枯葉に慈光の 一枝」をモットーと して余す一輪花の生命 と共生の余生を願求 する昨今です。</p>	<p><b>上田信也先生</b> (63才) 昭和48年3月退職 「英教塾ウエダ」を 経営しながら、昼間 は「両国予備校」で 生物の非常勤講師を しています。15年余 り高校生物から遠ざ かった後での予備校 でしたので当初はど まどいしましたが、今 ではすっかり調子に 乗っています。</p>	<p><b>井上信夫先生</b> (60才) 昭和37年1月退職 高石高校長として勤 務。この3月で現役 が終了です。大阪高 等学校体育連盟のハ ンドボール部長をし ています。</p> 	<p><b>浅野浩司先生</b> (35才) 昭和63年3月退職 一般企業に就職後、 現在美原町立美原中 学校に勤務していま す。</p>	<p><b>青木 忍先生</b> (57才) 昭和50年3月退職 四天王寺高校に勤務 現在四天王寺羽曳丘 高校長として1年目 です。</p>
<p><b>楠橋伊佐夫先生</b> (55才) 昭和50年3月退職 現在予備校を中心に 授業をしており、数 年前から取り組んで いた「古典文法攻略 ポイント」「現代文攻 略ポイント」が完成し “大学受験合格の 神様”と呼ばれるよ うになりつつあります。</p>	<p><b>橘本幸弘先生</b> 昭和47年3月退職 明星高校に勤めてい ます。</p>	<p><b>河本 勝先生</b> (62才) 平成6年3月退職 現在成器高校で非常 勤講師として勤めて います。</p>	<p><b>岡本真知男先生</b> (47才) 昭和50年3月退職 大阪市立盲学校高等 部で1年生の担任を しています。盲学校 に来て10年を越えま した。</p>	<p><b>大淵 恂先生</b> (62才) 昭和59年3月退職 歳相応に衰えて来ま したが、なんとか生 きています。「成器 ガンバレ！」と常に 祈っております。</p>
 <p>成器高等学校修学旅行記念</p>				
<p>オーストラリア修学旅行</p>		<p>体育祭</p>		
<p><b>助松弥三郎先生</b> (63才) 昭和61年3月退職 退職して早や10年、 元気に毎日貸農園で 野菜を作っています。 夕方から小学生低学 年を相手に楽しく「 そろばんと習字」を 指導しています。</p> 	<p><b>杉本圭市先生</b> (77才) 昭和54年3月退職 自分では元気なつも りですが、何時の間 にか高齢者となり、 心臓に爆弾を抱え年 ら暮しています。目 や耳も不自由になり 余り外出せず、家で 雑用をこなしていま す。</p>	<p><b>柴田政義先生</b> (69才) 昭和40年3月退職 日本福祉大学名誉教授 震災からの復旧も家 の内部は済み、塀な ど外部を残すだけと なりました。 退職に当たっての最終 記念講義の原稿化が なかなか進みません。 それ以外は、カメラ を持って野山を散策 して、健康保持策と しています。</p>	<p><b>黒本秀臣先生</b> (46才) 昭和50年3月退職 成器高校退職後、藤 井寺高校に13年間、 池島高校に転任して 早や9年目を迎えた ました。女子バレー部 の顧問として頑張 っています。 月2回程パラグライ ダーで大空を飛んで います。</p>	<p><b>久保井正三先生</b> (63才) 昭和43年3月退職 監査法人誠和会計事 務所の代表社員で、 公認会計士・税理士 として上場会社、学 校法人等の会計監査 に従事して、忙しい 毎日です。</p> 
<p><b>辻本 隆先生</b> (63才) 昭和38年9月退職 平成3年3月大阪市 役所を定年退職し、 同年4月より、学校 法人大谷学園本部事 務局に勤務中です。</p>	<p><b>津田達男先生</b> (63才) 平成5年3月退職 現在、成器高校で講 師として元気に頑張 っています。</p>	<p><b>武江栄太郎先生</b> (61才) 平成7年3月退職 週3日、元気にそろ ばんを教えています。</p>	<p><b>田辺忠雄先生</b> (69才) 昭和59年3月退職 病後静養中です。</p>	<p><b>高橋敏郎先生</b> (73才) 昭和58年3月退職 平成に入った頃から 体調を崩しましたが 最近元気を取り戻し ました。 出来るだけ外出し、 散歩するように心が けています。又、句 を作り、新聞に投稿 して入選するのを楽 しみにしています。</p>
<p>昭和39年の校舎風景</p>				
				

# 先生お元気ですか!

昭和35年以降退職された先生方の消息

<p><b>中路 悟 先生</b> (51才) 昭和50年3月退職 河内長野市立千代田 小学校勤務。 小学校に勤めて21年 になります。月日の 経つのが早く感じま す。</p> 	<p><b>二宮 甚 陸 先生</b> (52才) 平成3年3月退職 石切神社の近くで食 堂をしています。</p>	<p><b>豊島 好 朗 先生</b> (69才) 昭和62年3月退職 現在病氣静養中です。</p>	<p><b>富 永 勲 先生</b> (55才) 平成7年3月退職 家業の接骨院をして います。</p>	<p><b>登木 龍 太 郎 先生</b> (62才) 平成6年3月退職 最近では田舎での生活 が長くなっています。 趣味と実益を兼ねて の野菜作りと魚釣りで 日々是好日。体調は 今のところ本調子で はありませんが、毎日 を楽しんで過しています。</p>
 <p>昭和40年の先生方</p>				
<p><b>守井 俊 司 先生</b> (68才) 昭和48年3月退職 大変健康に生まれ、 大阪女子短大高校で 講師として勤めてお ります。</p> 	<p><b>村上 芳 夫 先生</b> (66才) 平成2年3月退職 退職後2年程民間会 社に勤めました。 現在は悠々自適の生 活を送っています。</p>	<p><b>三浦 友 久 先生</b> (61才) 平成7年3月退職 現在、成器高校非常 勤講師として勤務。</p> 	<p><b>日野田 正 英 先生</b> (82才) 昭和48年3月退職 現在、体の調子が悪 く寝たり起きたりし ております。</p>	<p><b>藤本 恭 作 先生</b> (59才) 昭和37年3月退職 大学を出てすぐ学園 にお世話になり、先 輩の先生方から教員 としてのイロハから ご教示頂きました。 現在、佐野高校長と して7年目を迎え、 本年3月退職の予定 です。</p>
<p>昭和30年代の体育祭</p>		<p>平成4年 朝 礼</p>		
<p>☆先生方の住所や 電話番号を知り たい方は学園事 務局にお問い合わせ 下さい。</p> <p>TEL 06(693)6301 FAX 06(693)5172</p>	<p><b>渡 壁 辰 夫 先生</b> (80才) 昭和52年3月退職 学園退職後、住宅関 係の会社を経営し、 現在に至っております。 社会奉仕活動をし、 健康を第一に余生を 楽しく暮らしています。</p> 	<p><b>依 田 吉 野 先生</b> (67才) 平成元年3月退職 今の所は健康に恵ま れ、元気に福島女子 高校に勤務しており ます。</p> 	<p><b>山 本 英 雄 先生</b> (64才) 平成3年8月退職 成器高校退職後、大 商学園高校で4年間 校長として勤め、今 は悠々自適の生活で す。</p>	<p><b>山 笠 茂 彦 先生</b> (35才) 平成元年3月退職 京都の公立中学校に 勤めています。</p> 
<p>通 学 風 景</p>		<p>勉 強 合 宿</p>		
<p>— その他の先生方 — ( )内は退職された年月です。</p>				
<p>一宮 国 造 先生 (昭和59年3月) 小原 英 雄 先生 (昭和57年3月) 西村 貴 博 先生 (平成4年3月) 江見 健 先生 (昭和40年3月) 西村 達 男 先生 (昭和48年3月) 加藤 博 史 先生 (昭和38年3月)</p>	<p>岡田 宜 彦 先生 (昭和40年3月) 永浜 俊 昭 先生 (昭和39年3月) 吉見 勇 先生 (平成元年3月) 三ヶ尻 治 先生 (昭和45年3月) 田辺 大 蔵 先生 (昭和62年3月)</p>	<p>古賀 慶 一 先生 (昭和50年3月) 西村 俊 吉 先生 (昭和48年3月) 山田 大 吉 郎 先生 (昭和48年3月) 角田 昌 茂 先生 (昭和46年3月) 佐倉 治 先生 (昭和57年3月)</p>		
<p>— 物 故 の 先 生 —</p>				
<p>中井 弥 五 郎 ・ 鈴木 真 一 郎 ・ 中山 種 次 郎 ・ 大坪 勝 ・ 岡崎 繁 ・ 友 広 一 男 ・ 三原 昇 太 郎 坂 倉 広 顕 ・ 竹 内 敬 ・ 藤 田 正 隆 ・ 橋 本 幸 太 郎 ・ 藤 本 三 郎 ・ 竹 島 伊 三 雄 ・ 大 島 淳 作 細 川 孝 典 ・ 塚 田 孝 典 ・ 植 村 政 視 (ご冥福をお祈り致します) (敬称略)</p>				

## 五十年ぶりの卒業式

昨年十一月十一日(土)に、学校にて卒業以来半世紀ぶりに、昭和二十年三月卒業の四十期卒業生鈴木良行さん外十三名(当日出席者六名)に安永校長先生から卒業証書の授与が行われました。丁度五十年前の三月十三日から十四日にかけて、大阪は米軍B29による大空襲を受け、大阪の町が灰燼に帰した際、今宮にあった母校も木造校舎の悲しさで廃墟になり、大半の生徒も被災したため三月二十日に予定されていた卒業式が取止めとなった。終戦後卒業証書の授与を巡り、論議が持ち上がったが、実現に至らず、半世紀ぶりにこれが実現したものです。



成器商業第40期生  
卒業証書授与式

四十期卒業の同窓生にすれば、やっとの思いで終戦を迎えた心境であったかと思えます。老境に差しか、ろうとする四十期卒業生を前に安永校長からサムエル・ウルマンの「青春」の詩を挨拶で述べられ、皆さんを勇気づけられ、感慨一人の面持で拝聴し、「童の光」を歌って式は滞りなく終了しました。

## 平成八年度成器学園同窓会への募金につきご支援方お願い

平成七年二月発行の成器学園同窓会新聞にて、平成七年度の募金のご協力につきお願ひ致しましたところ、平成八年一月二十日現在六十一名、金額九十一万七千四百六十円の御芳志をお寄せ頂きました。こゝに厚く敬意を表し、お礼を申し上げます。

同窓会活動の活発化、運営の同消化が強く求められています。そのためには同窓会自体の組織強化、財政基盤の確立が急務であります。同窓会運営の源資は基本的には自ら捻出しなければなりません。現在同窓会の財源は学園より交付される年間百五十万円の同窓会費に頼っており、これだけでは事務経費や印刷通信費を賄うのに一杯の状況で、今回のように「会報」全員配布を執行することすら出来ない状態です。

加えて生徒減少期に入っておりますため今後学園から交付される同窓会費は年々減少していく見込みです。このため本年度においても、同窓会活動の円滑化、活発化のため、広く同窓諸氏の貴重な御芳志をお願いすることになりました。

二十一世紀初頭に創立百周年に向けて同窓会を益々充実させていくため、今年度につきましても同窓皆さまのご支援を心からお願ひ申し上げる次第です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。尚ご支援賜ります際は同封振込用紙にてお願ひ申し上げます。(一口壹万円、何口でも結構です)

なお平成七年度の募金のうち金五十万円を中学校校舎新築祝として絵画二点を学園に贈呈させて頂き、残りは同窓会の基本財産に繰入処理させて頂く予定です。ご了承下さるようお願い申し上げます。

### 募金先 成器学園同窓会

### 平成八年度募金事業本部

連絡先 大阪市住吉区長居二丁目一十五番 成器学園同窓会  
 本部長 渡壁辰夫  
 委員 宮川 稔・田仲弘義  
 東川 博・岩崎信行  
 北村裕次

## 平成6年度収支決算書

(自平成6年4月1日～至平成7年3月31日)

### 収入の部

科目	予算額	決算額	対比較増△減	備考
会費	1,650,000 <sup>円</sup>	1,644,000 <sup>円</sup>	△ 6,000 <sup>円</sup>	平成6年度卒業548名×¥3,000
預金利息	200,000	112,227	△ 87,773	銀行定期・普通預金の利息
特別会計剰余金	100,000	107,644	7,644	桃李懇親会 83,114円 新年会 24,530円
雑収入	0	3,500	3,500	名簿代
寄付金	0	21,829	21,829	90周年寄付金及び平成6年度卒業生事務費残金 1,829円
広告料	0	680,000	680,000	同窓会新聞広告掲載料
前期繰越金	2,100,034	2,100,034		
合計	4,050,034	4,609,234	619,200	

### 支出の部

科目	予算額	決算額	対比較増△減	備考
総代会費	110,000 <sup>円</sup>	121,367 <sup>円</sup>	11,367 <sup>円</sup>	定期総会経費
役員会費	35,000	40,222	5,222	
庶務費	350,000	525,400	175,400	別紙明細
印刷費	50,000	369,321	319,321	新聞及び各会合案内印刷代
通信費	180,000	195,089	15,089	郵送料・電話料等
消耗品費	20,000	13,940	△ 6,060	文房具・事務用品購入費等
事務費	360,000	180,000	△ 180,000	事務局長手当
寄附費	350,000	290,000	△ 60,000	在校生クラブ活動奨励金
記念品費	120,000	95,099	△ 24,901	卒業証書入筒代・幹事記念品
交通費	400,000	249,238	△ 150,762	事務局長他交通費
雑費	100,000	0	△ 100,000	
雑品・什器	70,000	73,345	3,345	
(経費小計)	(2,145,000)	(2,356,255)	(211,255)	カーペット、クロー工事
次期繰越金	1,905,034	2,312,979	407,945	
合計	4,050,034	4,669,234	619,200	

財産目録	基本財産	同窓会基金による基金	定期預金	3,500,000円
		なほ銀行西田支店	普通預金	447,970円
		大阪銀行西田支店	合計	3,947,970円
	繰越金明細	現金	100,088円	
		なほ銀行西田支店	普通預金	2,212,891円
			合計	2,312,979円

## 平成六年度 決算報告

平成六年四月一日(平成七年三月三十一日)までの収支決算は左記の通りです。毎年卒業生には卒業証書入筒・同窓会幹事に記念名刺を贈呈しています。活躍しているクラブ活動には文化部(吹奏楽部の御堂筋パレード参加)運動部(バドミントン部は遠征大会・全国大会出場、空手部は遠征大会・全国大会に出場)等々には同窓会より金一封を贈り活躍に協力してあります。平成七年度の募金は九十一万円に達しました。その内から中学校校舎竣工に当たり絵画費として学園に五十万円の寄付をさせて頂いたいただきます。

## 各地で活発に同窓会

### 東部成器会

#### 総会開かる

東部成器会は同窓会本部よりも歴史が古く、毎年総会を開き活発に運営されています。平成七年度の総会は十一月二十五日(土)にメーデール千正屋本店(日本橋)で開催され、十八名が出席しました。

安永校長と井内同窓会会長も出席し、学校の近況や同窓会の動きにつき報告し、出席者も夫々自己紹介を兼ねるスピーチを行い、深い感動を呼び起す有意義な会合となりました。東部成器会の会員は現在百七十五名、会長丹波嘉義氏(昭和十六年卒一三三六期生)幹事松村光三氏(昭和三十四年高十一期生)のお二人を中心に運営されていますが特に松村氏が十六頁にも及ぶ会報を既に十一号(年一回発行)まで発行され、会員の消息を細かく取材して会報に記載する等、並々ならぬご努力には頭の下



東部成器会  
総会

がる思いが  
します。  
益々のご発  
展をお祈り  
いたします。

平成七年十月二十一日(土)難波二丁目ジャパン内教壇において卒業生三十五名と来賓として足立好一理事(昭和二十四年卒高二期生)、湖上英範専務理事、井内博見同窓会会長(昭和二十五年高二期生)を迎え盛大に開催されました。

### 成器商業第四十期卒業 五十周年記念同窓会開催

当日の出席者名簿の裏面には昭和二十年終戦当時の恩師の渾名と担当学科が紹介されており思わず、類がゆるむ思いがしました。皆さんは大人に若返り半世紀前の腕白青年時代に戻ったかのように旧交を暖め、校歌を斉唱の後、再会を約し散会しました。

往之江区を中心とする同窓生の会が、寿会である。毎年一月七日に新年会を開き、二十名前後の参会者で賑わう楽しい同窓会で、例会場は住之江区御崎にある「伊賀殿」である。

#### 成器学園寿会開催

高野光男顧問(元市議)、吉田末廣会長、吉井宏幹事を中心に、よくまとまった和やかな同窓会で、各人がお土産を持参し、交換したり、ビンゴゲームを楽しみながら、和気あいあいと時間の経つのも忘れてしまう愉快な同窓会である。今年も井内同窓会会長と上野副会長が出席し、同窓会、学園の近況報告、最後に校歌を斉唱し、来年の再会を約し、散会した。

## 同窓会 行事

同窓会は毎年三大行事を開催しておりますので、是非ご参加下さい。

### 同窓会総会

毎年四月の第三土曜日に本校にて開催しています。決算報告・行事報告・予算・行事予定を審議し、終了後懇親会を開催し同窓生の親睦を計っています。

今月も四月二十日(土)二時より開催しますので出席の方は、同封のハガキにてお知らせ下さい。

### 高野山参拝一泊旅行

暑さきびしい折に納涼を求めて毎年七月末〜八月初旬、高野山「普賢院」に参拝の一泊旅行



を行っていただきますのでご家族又は、お知り合いの方々をお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

### 秋季懇親会

十二月中旬頃に校外にて開催しております。昨年は十一月十一日(土)「ニューミューン・ヘン南大使館」にて華々しく催されました。今秋も開催いたしますので多数のご参加をお待ちしております。

## 同窓会活動報告

- 平成7年4月6日(木) 4時〜7時  
役員委員会 於本校会議室  
総会と懇親会開催についての役割分担  
必要書類等の準備
- 平成7年4月15日(土) 2時〜3時  
定期総会開催 於本校会議室  
行事報告・決算報告  
行事計画・予算審議
- 懇親会 4時〜6時  
於長居パークホテル
- 平成7年6月3日(土) 3時〜6時  
役員委員会 於本校会議室  
高野山一泊参拝旅行準備打ち合わせ
- 同窓会募金事業部の募金状況と積極的  
取り組み等審議
- 平成7年7月1日(土) 3時〜6時  
役員委員会 於本校会議室  
高野山一泊旅行案内状発送準備
- 7年度同窓会募金の応募状況  
今後の活動方針検討
- 会報の発行について審議
- 平成7年8月5日(土)〜6日(日)  
高野山一泊旅行(普賢院)
- 平成7年10月14日(土) 3〜6時  
役員委員会 於本校会議室  
秋季懇親会の打ち合わせ
- 地域別名簿の打ち出し審議  
会報製作について審議
- 平成7年10月31日(火) 4〜6時  
役員委員会 於本校会議室  
秋季懇親会役割分担その他  
会報作成の打ち合わせ
- 平成7年11月11日(土) 6時〜8時  
秋季懇親会  
於ニューミューン・ヘン南大使館
- 平成8年1月27日(土)  
役員委員会 2時〜4時 於本校会議室  
新年会 5時〜8時 於ことぶき

# 平成8年度 同窓会総会及び懇親会

—— お待ちしてま〜す! ——

日時：4月20日(土)

会場：●総会 本校会議室 2時より

☎06-693-6301

●J日曜和陸 長居駅より徒歩8分 ●地下鉄御堂筋線 西田辺駅より徒歩8分②  
●J日曜和陸 長居駅より徒歩8分 ●地下鉄御堂筋線 長居駅より徒歩8分②出口

●懇親会 長居パークホテル 4時より

☎06-608-1117

会費 ¥5,000

●地下鉄御堂筋線 長居駅より徒歩2分

- 出席の方は同封はがきにてお知らせ下さい。  
(西方向出出来ない方は、どちらか片方だけでも気楽にご出席下さい。)
- 懇親会の出席者にはお楽しみ参加費を用意しております。

## ●同窓会よりお願い●

成器学園同窓会は昭和49年に創立され卒業生は26,800名を越えました。年1回の発行ですが経費も年々増加し、特に郵送料の値上げで赤字状態です。振込用紙を同封いたしますので、あなたと同窓会のためにぜひ寄附をお願い致します。

※会報に関して御意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会開催などもお知らせいただければ幸いです。

〒558 大阪市住吉区長居1-4-15

成器学園同窓会宛 ☎06(693)6301 FAX06(693)5172

あ  
と  
が  
き

成器学園同窓会は昭和四十九年に創立されました。学校創立以来九十三年の歴史をもつ成器としては、同窓会活動は非常に遅れてのスタートになりました。その当時の学校長渡壁辰夫先生、伊丹啓次初代同窓会会長(現同窓会名誉会長)故橋本幸太郎先生等のご努力で実現したものであります。

同窓会発足当初は故橋本先生がガリ版刷りでざら半紙に同窓の消息等を印刷され配布されていきました。その後タブロイド版四頁の、「同窓会新聞」が発行されるようになりましたが、不定期で、発行部数も三千部ほどで、限られた範囲の配布に止まっておりました。

今年には成器有史以来最も画期的な校名改称中学校新設、男女共学六年一貫教育、中学校新校舎竣工等々学園の教育施設の充実振りは目を見張るものがあります。このような学園の状況を同窓生全員(平成六年度末で卒業生二万六千八百五十一名うち連絡可能な人約一万六千名)にお知らせするため、学校からも記事提供をお願いし「会報」としてお届けすることにしました。全員に配布するには郵送料だけでも相当の費用を要するため、学校にも御無理をお願いし、費用の大半を負担して頂くことになりました。またマイライフ、広告欄に寄稿とご支援をいただきましたみなさまにも紙上を借りてお礼を申し上げます。(井内)

<p>同窓会名誉会長 <b>伊丹啓次</b> (大正14年・1部20期卒業)</p> <p>株式会社伊丹ビル社長・成器学園顧問 〒561 豊中市豊南町東3-14-4 TEL.06(334)4616</p>	<p>同窓会会長 成器学園評議員 <b>井内博見</b> (昭和25年・高校2期卒業)</p> <p>福祿産業株式会社 取締役社長 大阪市中央区東心斎橋1丁目番12号 TEL.(06)252-5277 FAX.(06)245-1353</p>	<p>ピザハウス バーベキューハウス ピザに乗った <b>F</b></p> <p>本店 神戸市灘区山田町3丁目1-16-203 ☎(078)821-3994</p> <p><b>藤田光雄</b> (昭和25年・高校2期卒業)</p>	<p>祝学芸創刊</p> <p>東部成器会 会長 <b>丹波喜義</b></p>
<p><b>田仲弘義</b> (昭和22年・1部42期卒業)</p> <p>〒545 大阪市阿倍野区文の里3-10-19 TEL.06(621)6133</p> <p>サン・キング株式会社社長 TEL.06(631)0566③ FAX.06(631)4426</p>	<p>東川株式会社 <b>東川博</b> (昭和20年・1部40期卒業)</p> <p>〒547 大阪市阿倍野区長吉六反3-10-18 TEL.06(709)7280</p>	<p>近畿特別パトロール株式会社 代表取締役 <b>宮川稔</b> (昭和34年・高校11期卒業)</p> <p>本 社 〒559 大阪市住之江区粉浜西1-1-4 トモビル3F TEL.06(675)6226 FAX.06(675)9026</p>	<p>株式会社 <b>松碩社</b> 取締役社長 <b>中戸健一</b> (昭和36年・高校13期卒業)</p> <p>本 社 〒557 大阪市西成区豊天下2-11-13 TEL.06(652)4434 FAX.06(654)1255</p>
<p>成器高校指定業者 <b>(有)オオサカユニフォーム</b></p> <p>〒588 大阪市住吉区大領2-6-27 TEL.(06)695-3929 TEL.(06)695-1599 FAX.(06)693-9716</p>	<p>電源開発株式会社 親子火力発電所 構内 <b>洋光産業株式会社</b> 代表取締役 <b>飯田八四郎</b> (昭和11年・1部31期卒業)</p> <p>本 社 橋本市磯子区新磯子町37-2 〒235 TEL.(045)755-1923 FAX.(045)755-1923 川崎支店 川崎市川崎区小田3-15-13 〒210 TEL.(044)323-7184</p>	<p>***** <b>SUZU PACK</b>は 包装のバイオニアです。 食品、薬品、工業品、その他。</p> <p>株式会社 <b>スズパック</b> TEL.(06)536-4477 FAX.(06)536-4433 昭和41年・高校18期卒業 松田和人 *****</p>	<p>お菓子の進物・ご贈答は <b>K</b> 関西せんべい本舗 電話 06-697-6884</p>

成器学園同窓会  
会報「学芸」

- 発行日：平成8年2月22日
- 編集：同窓会企画部
- 発行所：〒558 大阪市住吉区長居1-4-15  
TEL.06(693)6301 FAX.06(693)5172

■表組絵及びイラスト 作家プロフィール  
はら たくみ イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員  
(原 塚三) テレビ出演等々各界で活躍中  
※表組のイラストは高校の校舎と中学の新校舎をシンボルマークとからみ合わせて1つの花にたとえ、学校全体像をわかりやすく表現しました。